



レイカディア大学 サポートの会広報誌

シニアの学び舎

レイカディア大学だより 草津キャンパス

No.51

2023.11.17

シニアが新しい教養と技術を身につけ、地域の担い手として登場できるよう支援しています

第45期生の皆さん 入学おめでとうございます！

ようこそ、レイカディア大学へ



【新入生宣誓】



秋晴れの10月3日県立長寿社会福祉センターで、滋賀県レイカディア大学45期生（草津キャンパス147名、彦根キャンパス69名）の入学式が行われました。

市川学長からは「本学で学ばれる学生の皆さんを拝見していますと、自ら肩書を外し解放されることで、新しい仲間との友情を育み、生き生きと学ばれています。どうか皆さん、多くの仲間と大いに学び、楽しみ、喜びを分かち合ってください。」とお祝いの言葉がありました。

また、草津キャンパス陶芸学科の高尾充一様が「人生100年時代を豊かなものにしていくため、広い視野を持って新しい知識・教養を習得し、アクティブシニアとして地域社会に貢献できるよう自己研鑽に努めます。」と新入生を代表して宣誓されました。取材／浅井・熊谷・芝田・近松・山内

回覧板でレイ大を

学校の説明会には3回参加し、先輩との交流も大変有意義でした。建物もきれいで、これから楽しみです。



びわこ環境学科 坂本 康之さん

電車のチラシでレイ大を

出身の伊勢と滋賀の街並みや歴史が似ている事から、信楽の陶芸に興味を持ち陶芸学科に入学しました。



陶芸学科 西山 利治さん

式典での元気なお返事

自己の向上心を満足させる為入学しました。2年間の学びで準備をし卒業後は社会に還元したいです。



地域文化学科 西川 和彦さん

案内書を目にして入学

健康づくりが大きな目標の一つで、ここで学んで10年後が楽しみです。視野を広げ人の輪も広げたいです。



健康づくり学科 堀尾 雅子さん

仕事を退職し入学決意

ガーデニングを上手になりたくて入学しました。クラブ活動やボランティアで仲間づくりもしたいです。



園芸学科A 高岡 陽子さん

友人の薦めで入学

家で樹木や草花を育てています。妻が剪定をし、私が後片付けをしています。クラブ活動も楽しみにしています。



園芸学科B 白杵 義夫さん 照代さん

～ 出会いを求めて とともに学ばん とともに遊ばん とともに生きなん～



園芸学科A、園芸学科B、地域文化学科の皆さん



陶芸学科、びわこ環境学科、健康づくり学科の皆さん

第43期生176名卒業

滋賀県レイカディア大学卒業証書授与式



6,700人を超えるレイ大卒業生の一人として

式典では卒業証書授与に続き、市川学長から「私どもは今後も、素晴らしい伝統を引き継ぎながらも、時代に対応しながら新しく変化を重ねていく『不易流行』をモットーに発展してまいります。卒業生の皆さまも母校であるレイカディア大学を誇りに思い、本学で身につけた知識や技術・人脈を地域で活かし、ますますご活躍されますことをご期待申し上げます。」と式辞がありました。

また園芸学科A 青山長義様が「このように本当に楽しい2年間を過ごせたのも、縁あってこの大学に集った大切な仲間と講師の先生方をはじめ、大学関係者の皆さまのご協力の賜物と心から感謝申し上げます。私達は本日卒業致しますが、大学で学ばせていただいた多くの財産を今後地域社会への貢献に生かせる道筋を考え、実行していきたいと思っております。」と力強く答辞を述べられていました。



答辞

園芸学科A 青山長義様

歌声のある卒業式に感動！（仰げば尊し♪）

夏の暑さが残りつつも、秋の兆しを感じられる9月14日、米原市の「県立文化産業交流会館」にて、レイカディア大学第43期生の卒業証書授与式が行われ、草津キャンパス120名、彦根キャンパス56名、合計176名が卒業されました。

41期42期は、コロナ禍での卒業式であり、マスク着用で国歌・校歌は演奏のみでしたが、今回から斉唱も加わり、本来の歌声のある卒業式となりました。

終了後は、ロビーにて恒例の学科毎の記念写真の撮影が始まり、私達取材班も、色々な方から個人的に写真撮影を頼まれ嬉しい気分となりました。

以下、卒業生のコメントの抜粋です。

- ・卒業は無茶苦茶嬉しいけど、無茶苦茶寂しい
- ・仲間づくりができたことが一番最高
- ・女子会ができたのでこれからは女子会活動が楽しみ
- ・家族の理解の下無事卒業できた。家族に感謝
- ・いくつになっても卒業式は気が引き締まるなあ

「仰げば尊し」の斉唱では、私達も卒業生の皆さんと共に声を出して歌い、厳かな気持ちとなりました。心温まる卒業式でした。

取材／浅井・熊谷・野村・山内

第13期サポートの会スタート

第13期サポートの会代表 奥村 良雄

13期サポートの会の代表を拝命しました奥村良雄です。2010年10月に発足しました第1期サポート隊から第12期サポートの会までの諸先輩が築き上げた体制を今後もさらに発展させるため、持てる力を存分に発揮していきたいと思っております。

13期のキャッチフレーズは、①明るく②楽しく③元気で、レイカディア大学讃歌に謳われている《①ともに学ばん②ともに遊ばん③ともに生きなん》を体現するものと考えています。

①は一隅を照らすことで一人ひとりが周囲を明るくすることにより自然に世の中が明るくなるとの古人の教えに由来しています。

②は楽しく遊ぶことにより仲間が増え、結果として生きがいにつながるのではないのでしょうか。

③はいつまでも心身ともに元気で過ごしたい人の願望を表しています。何事にもリラックスを心がけ、『一人は皆のために皆は一人のために』の精神に基づいて果敢に挑戦していきます。

サポートの会は、レイカディア大学と協働して、在校生が学生生活を有意義に楽しく送れることを目的としています。13期も12期までと同様に、同窓会やえにしの会、在校生や大学事務局、さらにサポートの会の皆様のご理解とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

明るく・楽しく・元気で、そしてリラックス！



小森さん 山本さん 金田さん 奥村さん 高木さん 金守さん

第13期サポートの会 三役の皆さん（敬称略）

代表	奥村 良雄（42期 地域文化学科）
副代表	金田 博司（43期 園芸学科B）
総務代表	高木 清人（42期 びわこ環境学科）
総務担当	金守 一郎（42期 地域文化学科）
総務担当	山本 真（43期 地域文化学科）
学生募集プロジェクト	
リーダー（兼務）	金守 一郎（42期 地域文化学科）
サブリーダー	小森 慶宣（43期 健康づくり学科）

学科紹介

44期 陶芸学科

寄稿



【窯詰め】

【窯出し】

【授業風景】



作陶中

44期陶芸学科の20名（男12名、女8名）は、令和4年10月に入学し、大津市8名、草津市5名、守山市2名、近江八幡市2名、野洲市2名、湖南市1名となっています。

多くの者が初心者ですが、灘先生の丁寧な指導と42期の3名の先輩サポーターの適切なアドバイスの下で陶芸の基本的な技法を楽しく学んでいます。

今までに作成した作品は、直湯呑み・直花入れ・壺・丸形花入れ・抹茶椀・鉢・タタラ成形（四角鉢・蓋物）および自由作陶品です。それらと並行して素焼き・施薬・窯詰め・窯出しを体験しています。

特に釉薬については、その知識と経験はほとんどゼロで、発色のイメージが掴みにくく、釉薬と釉薬の掛け合わせの色の変化も良く分かっていませんが、今後の体験を通して理解を深めたいと思っています。

課外活動では、忘年会・花見後の宴会・43期44期の合同パーベキュー大会・大学祭の反省会などを行って懇親を深めています。

44期陶芸学科 学科長 井上 善治

学科紹介

44期 園芸学科B

寄稿

「目標設定と仲間の絆」が元気の源

コロナ禍が収束に向かっていった昨年10月、レイカディア大学に入学した44期生、我が園芸学科Bは現在17名と少数精鋭だ。最近、友人から「若返ったね!」という声が嬉しい。

自宅の畑・ベランダ・貸し農園で、苗を買い野菜を育て、各先生の親切丁寧な説明と技術（種から育てる、費用を掛けない）等を学び、入学から9ヶ月しか経っていないのに、園芸の楽しさを全員が深く理解し、日常生活もいきいきとしてきた。

園芸学科Bの課題学習は、学生が所有する遊休地を活用して花壇作り、野菜作り、そば作りに決定した。（共に汗をかく）

授業では、土づくり（土を何回も使う）、剪定の仕方（果樹・松等）、間伐を通じての森づくり（日当たりと風通し）、更に寄せ植え・リース・苔玉・野菜・菊づくり等を体験し、4年振りに一般公開の大学祭で、我々が作った作品を展示・販売した。

初めて出会った仲間と共通の趣味を、クラス会や各種行事を通じて確認しあっている。「園芸の深さと広さを実感、居場所づくりと半歩前進」を合言葉に、心ときめく仲間でありたいと話し合い、日々切磋琢磨している。

来たれレイカディア大学、園芸学科へ!!

44期園芸学科B 学科長 佐川 文明

プランターに
野菜苗の植付



松の剪定の
実習授業



課題学習の候補地にて



45期学生募集に関する活動報告

学生募集プロジェクトリーダー 山本 敏夫

まず初めに「45期学生募集」へのご支援・ご協力に心よりお礼を申し上げます。

45期の応募者は前回（44期）の「182名」を更に上回る「191名」の結果でした。特に「陶芸」は3年、「地文」「健康づくり」は2年連続抽選の嬉しい悲鳴となりました。

45期学生募集の効果のあった活動は「公開講座」と「学科見学会」です。参加者数は延べで259名（総定員：145名）にも上りました。やはり、レイ大を生の「目」で見て、卒業生との「ぶっちゃけ座談会」で本音の話を「耳」で聞くことが、多くの方の応募に繋がったと確信しています。この2年にわたっての各学科卒業生を初めとした方々の多大なご尽力で、学生募集活動の大きな「柱」に育て上げることができました。

最後になりますが、「12期サポートの会」は、44期・45期の学生募集を担当しました。この間の最大の成果は、コロナで中断していた募集活動を試行錯誤しながらですが、コロナ禍前の状態に戻せたことだと思います。

46期以降は、この結果をベースとして、さらに同窓会、えにしの会、卒業生・在校生および事務局との連携を深め、より活発な募集活動となることを祈念いたします。

1年半の間ご支援・ご協力ありがとうございました。

1. 草津キャンパス・応募者状況

(単位：名)

学科	応募者	定員	昨年度
園芸	40	50	48
陶芸	35	25	38
びわこ環境	25	25	23
地域文化	46	25	33
健康づくり	45	20	40
全体	191	145	182



2. 草津キャンパス・公開講座参加者数

(単位：名)

	実施日①	参加者	実施日②	参加者	合計	(昨年)
基礎講座	6月02日	13	7月07日	46	59	56
オープンキャンパス(大学祭)	7月21日	11	---	---	11	---

3. 草津キャンパス・学科見学会参加者数

(単位：名)

学科名	実施日①	参加者	実施日②	参加者	実施日③	参加者	合計	(昨年)
園芸	5月17日	7	6月05日	10	7月12日	18	35	28
陶芸	5月09日	5	6月14日	12	7月11日	10	27	27
びわこ環境	5月31日	9	7月05日	8	7月19日	15	32	21
地域文化	5月09日	5	6月06日	13	7月11日	16	34	15
健康づくり	5月30日	16	6月26日	22	7月03日	23	61	41
		42		65		82	189	132

・参加者合計が189名（昨年132名）と昨年に比べ30%増加！

・6月以降の参加者が大幅に増加！（昨年と同じ傾向）

4. 入学者数結果

(単位：名)

草津キャンパス						彦根キャンパス				総計
園芸	陶芸	びわこ環境	地域文化	健康づくり	計	園芸	北近江文化	健康づくり	計	
43	25	26	28	25	147	29	20	20	69	216

・草津キャンパス「園芸」のみ定員は未達

2023年度 寄付講座 (8月25日)

～卒業後のそれぞれの活動事例について～

サポートの会が基礎講座の一環として在校生に提供する「寄付講座」が8月25日に行われました。

講演に先立ちサポートの会の廣原代表より、今回のテーマに至った経緯・目的が説明され、最後に「今日は皆さん、楽しみながら卒業後参考になるようにお聞きいただきたい」との挨拶で講座は始まりました。

講演は37期～39期に卒業され、現在も地域活動等で活躍されている4組の方々から、活動を始めた経緯、活動の具体的な内容、現活動に対する想い、等についてお話していただきました。取材／浅井・熊谷・芝田



講演 (1)

「私のボランティア活動に対する考え方・取り組み方」

39期地域文化
学科卒
小石 秀司さま
(発表者)



講演 (2)

「守山市ボランティア観光ガイドについての活動報告」

38期地域文化
学科卒
中務 正人さま
(発表者)



講演 (3)

「陶芸を通じてのボランティア活動」

37期陶芸学科卒
「みな窯クラブ」
栗山 悟さま
(発表者)



講演 (4)

「新浜に生息するハマエンドウ等の保護・育成の取り組み」

39期びわこ環境
学科卒
清田 輝夫さま
(リーダー)
小西 真一さま
(発表者)



発行：滋賀県レイカディア大学 草津キャンパス サポートの会
編集：草津キャンパス サポートの会 広報情報部会
〒525-0072 滋賀県草津市笠山 7丁目 8-138
県立長寿社会福祉センター内
TEL：077-567-3901 FAX：077-567-3906
<http://lacakusatsu.com/1-supportai/index.html>



編集後記：

4年ぶりに卒業式・入学式が、本来の秋の同時期に行われ、賑やかな誌面となりました。

また、「広報情報部会」は、この10月から第13期となり、新しいメンバーと共に、皆さまに有益な情報発信ができますよう努めてまいります。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。(T.K)